

災害ボランティアセンター設置運営等支援事業【新規】

6月補正予算額 5,000千円

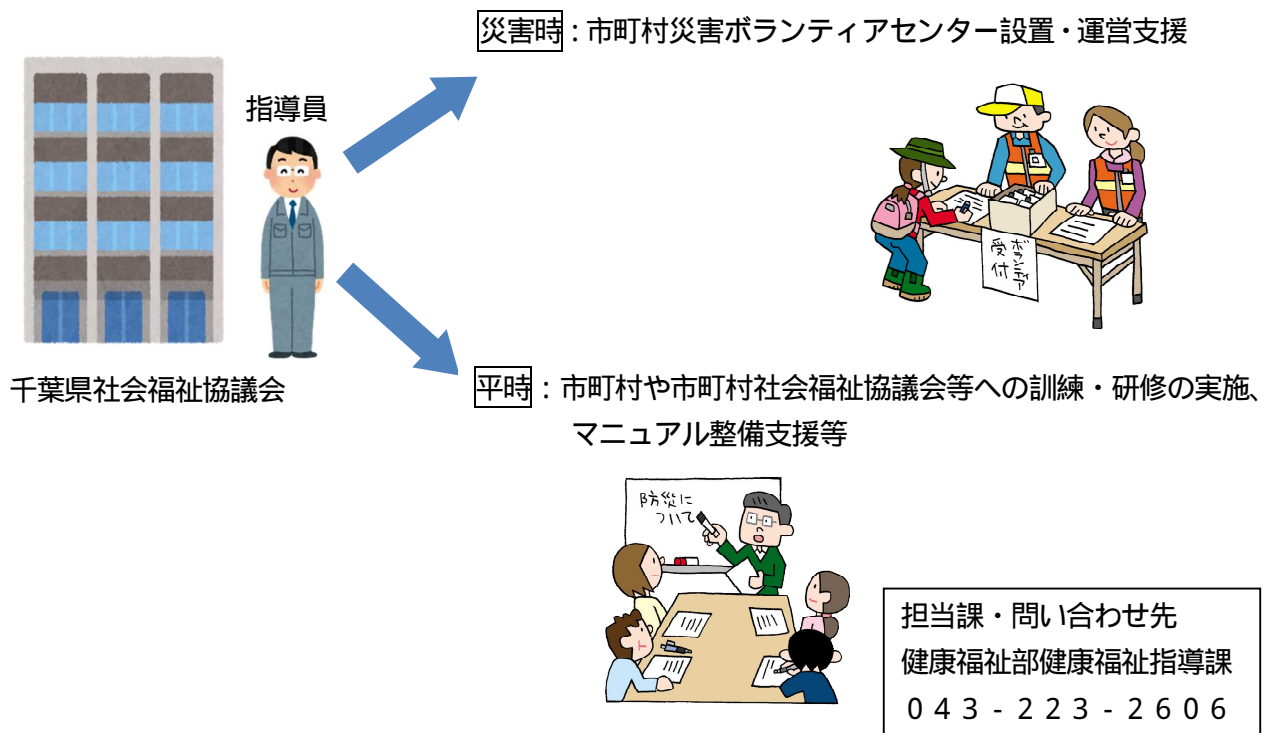
1 事業の目的・概要

大規模災害発生時には、災害ボランティアセンターが各市町村に設置され、ボランティアの受付やボランティアが求められているニーズ・場所へのコーディネート等を行います。

災害ボランティアセンターが各市町村において円滑に設置・運営されるよう、災害に関する高い専門性を持つ指導員を千葉県社会福祉協議会に配置し、災害に強い体制づくりを目指します。

2 事業内容

- ・ 千葉県社会福祉協議会に、災害に関する高い専門性を持つ指導員を1名配置します。
- ・ 指導員は、災害時には市町村における災害ボランティアセンターの設置・運営等を支援します。
- ・ 平時には、市町村や市町村社会福祉協議会等を対象とした災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施、設置の手順や必要な物資、連絡体制等を定めた災害ボランティアセンター運営マニュアルの策定・見直しの支援を行います。



一宮川流域浸水対策特別緊急事業

6月補正額 1,936,000千円
 (当初とあわせ 3,076,000千円)
 (R2当初 1,728,000千円)
 (債務負担行為 2,540,000千円)

1 事業目的・概要

一宮川流域では、過去30年間で4度目の被害が生じた事を踏まえ、令和元年10月25日と同規模の降雨に対して、令和11年度末までに家屋や主要施設の浸水被害ゼロを目指し、河川整備と流域市町村が行う内水対策、土地利用施策が連携した「一宮川流域浸水対策特別緊急事業」を実施します。

2 事業内容

一宮川中流域

- ・河道断面の拡大(河道拡幅や護岸法立て) 1,200,000千円
- ・一宮川第二調節池の増設、堤防嵩上げなどの河川改修 647,000千円
 (当初とあわせ 1,278,000千円)
- ・茂原市街地における局所的な改修 89,000千円(当初とあわせ 433,000千円)



担当課・問い合わせ先

県土整備部河川整備課 043-223-3165

河川・海岸・砂防事業

6月補正額 10,288,425千円
 (当初予算とあわせ 26,199,557千円)
 (R2当初 25,725,955千円)
 (債務負担行為 3,420,000千円)

1 事業目的・概要

洪水、高潮、土砂災害等から県民の生命・財産を守るため、河川・海岸・砂防施設の整備を一層推進します。

2 主な事業内容

(1) 河川事業

- ・河道拡幅・護岸整備等 5,325,830千円(当初予算とあわせ 9,188,326千円)

近年多発する集中豪雨や大型台風に対する治水機能向上として、河道拡幅や護岸整備など河川整備を推進します。



- ・ダムの施設更新及び機能確保等 518,745千円(当初予算とあわせ 1,812,047千円)

県管理ダムの老朽化した施設・設備の更新や、ダムの治水機能に影響を及ぼす堆積土砂の浚渫等を推進します。



- ・河道内に堆積した土砂の撤去等 477,900千円(当初予算とあわせ 2,537,850千円)

近年多発するゲリラ豪雨や大型台風による河川氾濫に備え、河道内に堆積した土砂や樹木等の除去を行い、流下能力の確保を図ります。



(2) 海岸保全事業

- ・高潮、海岸侵食対策等の海岸保全 875,000千円(当初予算とあわせ 1,885,250千円)

高潮、波浪等による被害から生命・財産を守り、海岸侵食から国土を保全するため、海岸保全施設の整備等を推進します。



(3) 砂防事業

- ・砂防関係施設の整備等 1,198,000千円(当初予算とあわせ 2,306,250千円)

近年多発する集中豪雨や大型台風などから県民の生命・財産を守るため、砂防施設整備・地すべり対策・急傾斜地対策等を推進します。



- ・土砂災害警戒区域等の指定 310,000千円

土砂災害から県民の生命を守るため、国の指針に則り、新たに抽出・把握した危険箇所の基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域等の指定を推進します。

担当課・問い合わせ先

県土整備部河川整備課	043-223-3165
県土整備部河川環境課	043-223-3154
県土整備部県土整備政策課	043-223-3117

農地防災事業

6月補正予算額 1,287,505千円
(当初予算とあわせ 2,481,250千円)
(R2当初 2,471,170千円)

1 事業の目的・概要

農地や農業用施設等の自然災害による被害を未然に防止するため、各種防災対策工事を行います。

2 主な事業内容

(1) 補助事業 1,135,005千円(当初予算とあわせ 2,251,250千円)

ア 湛水防除事業 555,170千円(当初予算とあわせ 991,189千円)

流域の開発、地盤沈下の立地条件の変化等により排水条件が悪化し、湛水被害のおそれのある地域を対象に、ポンプ場の整備や排水路の拡幅等を実施します。



ポンプ場の整備



排水路の拡幅・かさ上げ

イ 特定農業用管水路等特別対策事業

283,000千円(当初予算とあわせ 300,000千円)

石綿等が使用されている農業用管水路の撤去及び変更を実施します。

ウ ため池等整備事業 103,635千円(当初予算とあわせ 207,611千円)

老朽化し、決壊等による災害の発生のおそれのある農業用ため池を改修します。

(2) 単独事業 152,500千円(当初予算とあわせ 230,000千円)

地すべり対策事業 152,500千円(当初予算とあわせ 215,000千円)

国庫補助の対象とならない地区における地すべり対策工事を実施します。

担当課・問い合わせ先

農林水産部耕地課

043-223-2865

治山事業

6月補正予算額 455,000千円

(当初予算とあわせ 1,495,119千円)

(R2当初 1,417,043千円)

1 事業の目的・概要

山崩れや地すべりによる被害を未然に防止し、災害に強い森林をつくるため、災害予防工事や保安林の整備等を行います。

また、九十九里地域等の津波対策として、海岸保安林の植栽工事等を行います。

2 主な事業内容

(1) 山地治山事業 160,000千円(当初予算とあわせ 304,500千円)

崩壊のおそれの高い山地及び地すべり地、又は荒廃している森林、溪流等において、崩壊を未然に防ぐため、植栽工、土留工、森林整備等を施工します。

(2) 保安林整備事業 295,000千円(当初予算とあわせ 712,500千円)

うち津波対策分 215,000千円(当初予算とあわせ 560,000千円)

海岸における津波被害の軽減及び飛砂・潮風害等を防止するため、保安林内において植栽工等により海岸防災林を造成する工事を行います。



山地治山事業



保安林整備事業

担当課・問い合わせ先

農林水産部森林課

043-223-2962

電話de詐欺被害防止広報・啓発事業

6月補正予算額 10,000千円
(当初予算とあわせ 26,700千円)
(R2当初 26,000千円)

1 事業目的・概要

本県の「電話 de 詐欺」の認知件数は、全国的に見ても深刻な状況にあり、特に、親族になりすまして現金をだまし取る「オレオレ詐欺」の被害は依然として多く、全体の被害額のうち約4分の1以上を占めています。

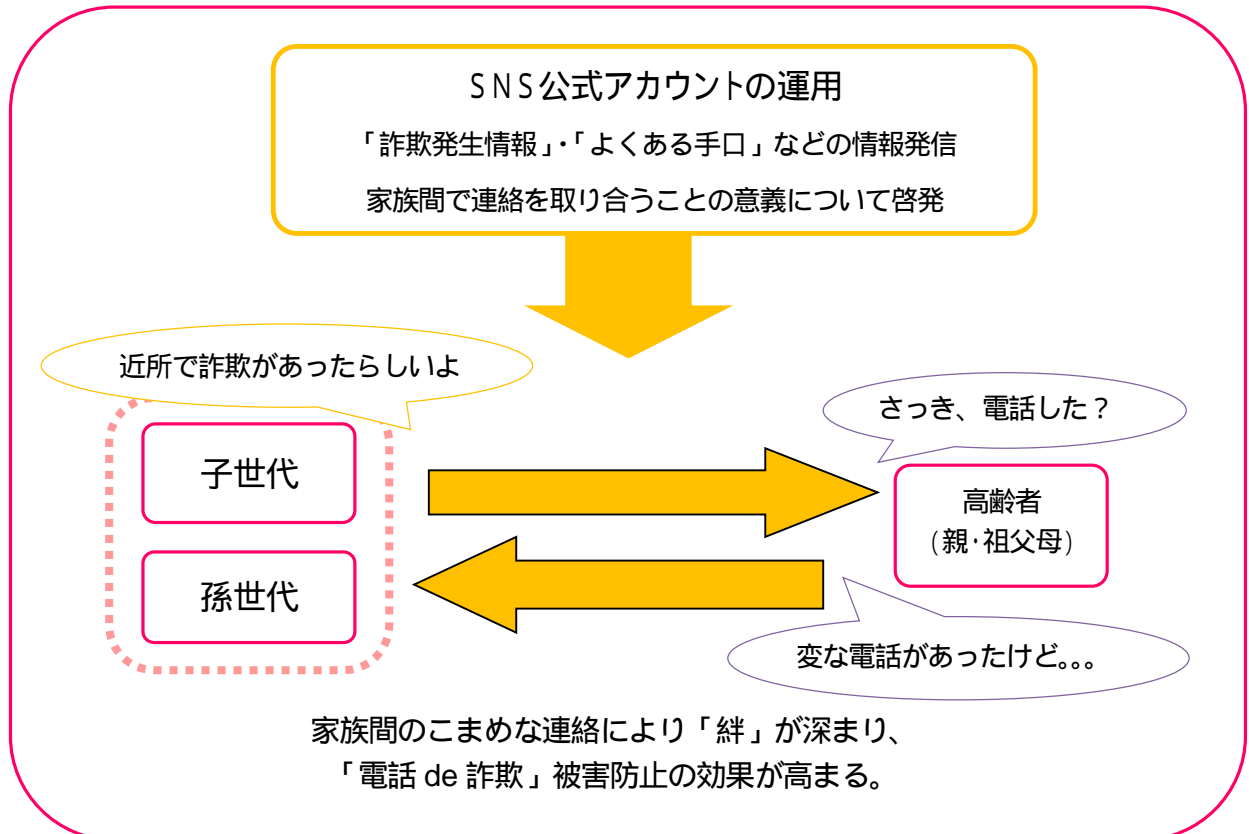
電話 de 詐欺の防止対策として、家族間で連絡を取ることが有効な手段であることから、被害の多い高齢者だけではなく、孫や子世代の防犯意識を高めるため、各世代に対してSNSを活用した広報啓発活動を行います。

2 事業内容

SNSを活用した広報啓発活動 10,000千円

- ・ SNSの閲覧者に対し、キャッチフレーズを用いたメッセージや、被害事例、被害に遭わないために家族で連絡を取り合うなどの被害対策を定期的に通知し、被害防止を呼び掛けます。

【事業イメージ】



担当課・問い合わせ先
環境生活部くらし安全推進課
043 - 223 - 2294

警察署庁舎整備事業

6月補正予算額 82,300千円

(当初予算とあわせ 2,110,931千円)

(R2当初 183,364千円)

(債務負担行為 188,000千円)

1 事業概要

警察体制の強化と県民の利便性向上を図るため、老朽化及び狭隘化が著しい香取警察署の建替えを実施します。

2 事業内容

JR佐原駅近くに位置する現在地(場所:香取市北)を建替予定地として、庁舎の基本設計及び実施設計を行います。

ア 基本設計業務委託 82,300千円

イ 実施設計業務委託 188,000千円(債務負担行為を設定)

3 今後の予定等

ア スケジュール

令和3年度 基本設計

令和4年度 実施設計

令和4~6年度 解体工事

令和6~8年度 建設工事

イ 総事業費(見込み)

36億15百万円



現在の香取警察署(建替予定地)

担当課・問い合わせ先

警察本部会計課(043-201-0110 内線2211)

高齢者交通安全啓発動画作成事業（交通安全県民運動）

6月補正予算額 13,000千円
（当初予算とあわせ 29,386千円）
（R2当初 20,000千円）

1 事業目的・概要

県内における交通事故死者数を減らすため、死者数の半数以上を占める高齢者向けの交通事故防止のための啓発動画を作成し、高齢者が多く利用する病院等で放映します。

2 事業内容

（1）高齢者交通安全啓発動画の作成等 7,500千円

高齢者の関連する交通事故の防止に向けた、ストーリー形式の啓発動画（アニメーション）を作成します。

また、幅広い世代にも話題にしてもらえるように、動画配信サイトを通じた配信等を行います。

動画の内容（予定）

- ・製作本数：60秒～2分×2本以上
- ・想定テーマ

高齢運転者事故防止（運転免許の返納、体調が悪い時は運転を控えることを促す）

高齢者の自転車事故防止（自転車用ヘルメットの着用を促す）等

- ・高齢者が感情移入しやすいようなストーリーとします。
- ・話題性を高めるため、著名人による製作を想定しています。

（2）病院等における放映 5,500千円

高齢者が多く利用する病院等の待合室のディスプレイを活用して、啓発動画を放映します。

放映期間（予定）

- ・令和3年12月～令和4年2月（3カ月）

担当課・問い合わせ先
環境生活部くらし安全推進課
043-223-2258



交通安全施設整備事業

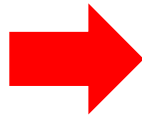
6月補正予算額 3,929,517千円
(当初予算とあわせ 9,235,708千円)
(R2当初 9,056,015千円)
(債務負担行為 480,000千円)

1 事業目的・概要

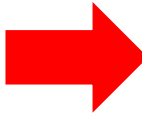
交通事故を防止するため、歩道等の整備、交差点改良や信号機の設置等を行うとともに、道路の白線消えの解消に向けて、区画線の引き直しの予算を増額します。

2 事業内容

(1) 歩道整備、交差点改良等 2,031,032千円 (当初予算とあわせ 5,638,080千円)
歩道整備 (R2当初 5,546,640千円)



(2) 信号機新設・改良・移設等 1,677,477千円 (当初予算とあわせ 3,243,468千円)
信号機新設 (R2当初 3,196,015千円)



(3) 区画線の引き直し 221,008千円 (当初予算とあわせ 354,160千円)
(R2当初 313,360千円)



担当課・問い合わせ先

(1)(3) 県土整備部道路環境課
043-223-3140

(2) 警察本部交通規制課

043-201-0110 (内線5161)